

(別添資料1)

事業所名

I L e 南風原 ちむぐる

支援プログラム（参考様式）

作成日

8年

4月

1日

法人（事業所）理念		サービスを通して、子供たちの身体機能や思考能力など様々な能力や可能性を見出し向上させる							
支援方針		子ども達一人一人の個性を知り個人に寄り添った支援を図り、能力が向上していけるよう支援していく							
営業時間		9時	30分	から	18時	30分	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	①健康状態の維持・改善 ②生活リズムや生活習慣の改善		◎来所時に検温など体調管理 ◎靴、ランドセルなど整理整頓、管理 ◎本日の予定を確認、自発的な行動を促す ◎排泄や手洗いなどの衛生管理					
	運動・感覚	①姿勢と運動・動作の向上 ②姿勢と運動動作の補助手段の活用 ③保有する感覚の総合的な活用		◎ボッチャ、モルック、カードタッチ、リトミック、工作活動、公園遊び etc… ◎色々な運動活動などを通して体幹や体力、筋力を向上し得意や苦手を見つけていく ◎運動と共に思考能力が向上するような活動を提供し脳と体の発達を促す					
	認知・行動	①認知の発達と行動の習得 ②空間・時間・数などの概念形成の習得 ③対象や外部環境の適切な認知と行動の習得		◎活動や余暇時間などのルールやお約束を確認 ◎個々の発達レベルに応じた科目学習の支援 ◎認知の偏りに対する支援や、状況に応じた適切な行動への対応力を養う					
	言語 コミュニケーション	①言語の形成と活用 ②言語の受容及び表現 ③コミュニケーションの基礎能力の向上 ④コミュニケーション手段の選択と活用		◎グループワークを通して他者とのコミュニケーションを図る ◎子供たち同士で相手の気持ちに寄り添った言葉かけを心がけて発言してもらう ◎正しい言葉遣い声量を身に付ける ◎ジェスチャーと言語を結び付けてコミュニケーションを図れるようにする					
	人間関係 社会性	①他者との関わり（人間関係）の形成 ②自己の理解と行動の調整 ③仲間づくりと集団への参加		◎SSTを取り入れながら、子供たち同士の伝え方、聞き方など子ども達同士で良好な関係になれるようサポートしていく ◎集団活等を通して子ども達同士のコミュニケーション方法や協調性を身に付けてもらう ◎色々な個性がある子達同士での関わりで子ども達同士でも個々の関わりの違いを身に付けてもらう					
家族支援		◎子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談支援 ◎家族の子育てに関する困り事に対する相談支援 ◎保護者の就労やレスパイトケア				移行支援		◎進級前の面談 ◎習い事などへの意向に関する相談支援	
地域支援・地域連携		◎学校、学童などとの情報共有や連携 ◎相談支援事業所との連携 ◎イベントなどを通じた地域との交流				職員の質の向上		◎職場での指導連携 ◎グループ事業所内での研修、連携	
主な行事等		◎クリスマス、ハロウィン、BBQ、七夕、誕生会など ◎保護者会							